

平成 20 年度 第 4 回常任委員会 議事録 (案)

日 時：2008 年 12 月 3 日 (水) 14:00～17:00

場 所：土木学会 講堂

出席者：宮川委員長，横田幹事長，井上，猪熊（代理：宮内），上田，魚本，宇治，大津，岡澤，金津，黒田，坂井，塚，佐藤勉，島，下村，新藤，鈴木，武若，堤，富田，中村，二羽，橋本，丸山，六郷，渡辺の各常任委員，岸，佐藤靖，信田，服部，濱田の各幹事，村木（事務局）

配布資料：

- 4-0 平成 20 年度 第 4 回常任委員会 議事次第
- 4-1 平成 20 年度 第 1 回コンクリート委員会・第 3 回常任委員会 議事録 (案)
- 4-2 216 歴代構造物品質評価／品質検査制度研究小委員会 委員構成
- 4-3 平成 19 年度 調査研究委員会の活動度評価の結果について (報告)
- 4-4 平成 21 年度 事業計画及び予算要求調書
- 4-5 事務局の支援範囲の見直しについて (ご協力をお願い)
- 4-6 公益信託「土木学会学術交流基金」ジョイントセミナー 助成申請書
- 4-7 平成 21 年度 全国大会共通セッションテーマの募集
- 4-8 国際会議における技術展示報告
- 4-9 2009 年 1 月号からの土木学会誌「情報 (会告)」の変更について
- 4-10 332 コンクリート―地盤境界問題研究小委員会 委員構成

議事：

1. 委員長挨拶

宮川委員長より，委員会開始にあたっての挨拶があった。

2. 次期委員長推薦選挙

投票数は 40 通であった。委員会の承認を得て幹事団から岸幹事が立会いし，村木事務局とともに別室にて開票することとした。

岸幹事より，開票の結果，宮川豊章委員長への投票数が過半数に達したことが報告された。

宮川委員長より，2 期目を受諾する旨の挨拶があった。

3. 前回議事録 (案) の確認

開票時間を利用して，濱田幹事より，平成 20 年度 第 1 回コンクリート委員会・第 3 回常任委員会 議事録 (案) (資料 4-1) が説明され，異議なく承認された。

4. 審議事項

(1) ローマコンクリート調査小委員会報告

坂井委員より，パワーポイントおよび回覧資料を用いて，114 ローマコンクリート調査小委員会の活

動報告があった。

- ・ 2009年4月24日（金）午後に、土木学会講堂にて講習会を開催する予定。内容は、特別講演（青柳先生）および委員会報告を予定している。
- ・ 回覧資料に対して意見を受け、可能であれば次回の常任委員会で出版の可否を決定してほしい。
これに対し、回覧資料を常任委員に郵送し、1月20日（火）までに意見を提出してもらうこととした。

(2) 1種・2種小委員会委員追加・変更

宮川委員長より、216 歴代構造物品質評価／品質検査制度研究小委員会の委員交代（資料 4-2）が説明され、承認された。

(3) その他

特になし。

5. 報告事項

(1) 平成 19 年度 活動度評価結果

横田幹事長より、平成 19 年度 調査研究委員会の活動度評価の結果（資料 4-3）が報告された。

- ・ 評価項目Ⅰ～Ⅲが A で、総合評価も A であった。
- ・ 過去 2 年間の総合評価も A であった。

(2) 平成 21 年度事業計画

横田幹事長より、平成 21 年度 事業計画及び予算要求調書（資料 4-4）が報告された。すでに提出済み。

- ・ 総合評価 A を受け、1,296 千円が配当される。
- ・ 小委員会の活動テーマを考える際、アクションプランの項目を参考にすることも考えられる。

これに対し、堺委員より「11. 地球温暖化緩和・適応技術の提案」が空欄であるのは問題があるのではないかと、実際に取り組みもある、との指摘があった。次年度は検討することとした。

(3) 事務局支援範囲の見直し

横田幹事長より、事務局の支援範囲の見直しについて（資料 4-5）が紹介された。コンクリート委員会においては、従来からの変更が必要な内容ではない。

本件について質問があれば、村木事務局または幹事団へ連絡してもらうこととした。

(4) 平成 21 年度ジョイントセミナー公募

堺委員より、公益信託「土木学会学術交流基金」ジョイントセミナー 助成申請書（資料 4-6）を提出した旨、報告があった。100 万円を申請しているが、実際の助成額は減額される見通しである。

ついで、同じく堺委員より、207 国際関連小委員会の活動に関し、ベトナムから我が国に基準類策定の協力を求める申請が出されており、現在、審査中である旨、報告があった。

(5) 平成 21 年度全国大会共通セッションテーマの募集

濱田幹事より、平成 21 年度 全国大会共通セッションテーマの募集（資料 4-7）が説明された。

共通セッション立ち上げの希望、あるいは、新しいセッションテーマの設定・既存のセッションテーマの修正意見（新規追加・統廃合など）があれば、12 月 10 日（水）までに村木事務局あるいは幹事団まで連絡することとした。

なお、本件はコンクリート委員会として対応するものである。

(6) 国際会議報告

横田幹事長より、資料 4-8 を用い、下記 2 件の国際会議においてコンクリート委員会の経費にてブースを出した旨、報告があった。

- ・ 第 8 回 高強度・高靱性・高性能コンクリートに関する国際会議（8HSC-HPC）（2008 年 10 月 27 日～29 日、東京）
 - ・ 第 3 回 ACF 国際会議（3rd ACF）（2008 年 11 月 11 日～13 日、ベトナム）
- 魚本委員より、3rd ACF に関する経費の支出および参加に対して謝意が述べられた。

(7) 3 種小委員会委員追加・変更

濱田幹事より、下記の委員会について委員の追加・交代が報告された。

- ・ 332 コンクリート—地盤境界問題研究小委員会（資料 4-10）

(8) その他

- ・ 濱田幹事より、2009 年 1 月号からの土木学会誌「情報（会告）」の変更（資料 4-9）の紹介があった。これに対し、魚本委員より、学会誌に連動して Web 掲載をできるだけ早く行うことが望まれる。すなわち、会費に見合った情報である必要がある、との意見が出され、コンクリート委員会から学会誌編集委員会へ申し入れることとした。
- ・ 鈴木委員より、336 コンクリート構造物の信頼性設計法に関する研究小委員会が 2 年間の活動を終了し、12 月 5 日（金）に土木学会講堂で報告会を行う旨報告があった。参加を募集している。
- ・ 二羽委員より、示方書改訂小委員会について、現在、活動方針について WG 毎に検討していること、次回は 3 月 10 日（火）に WG 主査幹事会を開催する予定であること、が報告された。
- ・ 丸山委員より、垂井高架橋関連について、現在、技術評価推進機構で活動を行っていること、10 月 23 日（木）に第 2 回目の委員会を開催し、温度変化に応じた通常の長さ変化はあるが特に変状は認められないとの報告があったこと、が報告された。
- ・ 魚本委員および信田幹事より、ConMat '09 のアブストラクトによる投稿申込みを締め切ったが、まだ受け付けているのでぜひ投稿してほしいとの要請があった。しばらく投稿システムを稼動状態にすること、学生割引もあること、が紹介された。
- ・ 横田幹事長より、平成 21 年度の重点研究課題の募集が来ていることが紹介された。100 万円程度の申請となる。募集要項をメールで回覧する。

（参考）重点研究課題により、過去には以下の委員会等を立ち上げている。

平成 20 年度：岸・蔵重：216 歴代構造物品質評価／品質検査制度研究小委員会

平成 19 年度：河野・鶴田：215 コンクリート構造物のインフラマネジメント検討小委員会

平成 18 年度：横田・下村：213 設計認証・保証システム研究小委員会

平成 17 年度：前川：211 重点研究課題「コンクリート標準示方書のアジア地域への展開戦略に関する研究」対応 PT

6. その他

今後の日程を以下のように確認した.

- ・ 次回幹事会（案件の締切）：2009 年 1 月 20 日（火）
- ・ 第 5 回常任委員会：2009 年 1 月 30 日（金）14:00～17:00 予定 土木学会

以 上